

学術研究講演会

「これから研究発表をする仙台一高生のために」

2025 年 9 月 3 日水曜日、仙台第一高等学校 5 階多目的教室で『学術研究講演会』が行われました。今回は東北大学大学院生命科学研究科 准教授 酒井 聡樹(さかいさとき) 先生からご講演いただきました。

内容

聴衆に自分たちの発表を聞いてもらうために、発表者が持つべき意識、発表の仕方やポスターやスライドの作り方に関する工夫をご教授いただきました。また、聴衆の心理的立場についての説明など、わかりやすい発表を行うための様々なスキルを教えていただき、とても有意義な時間となりました。



講演メモ

研究発表における留意点を具体的に知ることができました。多くの学んだことから一部を抜粋します。

1. わかって貰おうという意識を持つ

聴衆は理解するための努力を払う義務はなく、“発表者”のためでなく“自分”のために理解する。そのため、発表者が発表方法を工夫する必要がある。

2. ポスター・スライドに共通する発表技術

- ① その部分が何に関する情報で、何を言いたいのか、要点を明示する。
- ② 全体像を示してから細部を説明する。
- ③ 文章で説明せず、できるだけ「絵的」な説明にする。
- ④ 聴衆に言葉を覚えさせない。長い言葉は要約して言い換える。
- ⑤ 見出し・要点・大切な部分は、使用するフォントや大きさを変えて目立たせる。
- ⑥ 数値を比較するときは、表でなく図で示すと、視覚的にとらえやすい。
- ⑦ 会場の後ろからも見えるよう、白色の背景に黒の文字を使う。大きな文字、ゴシック体を使う。
- ⑧ 聴衆を見て話す。本番では原稿を見ない。



3. 分かりやすいポスターの作り方

読んでもらえるポスターの特徴は、「すっきりしている」「拾い読みしやすい」。そのようなポスターを作るために、以下の5点に注意する。

- ① 序論で、研究目的を明記する。
- ② 「まとめ(結論を含む)」をポスター右上に書く。
序論とまとめをポスター上部に並べることで、要約の役割を果たす。
- ③ 聴衆の視線の移動を小さくするため2段組で構成する。
- ④ 情報の領域を区切り、明確にする。
- ⑤ 番号等を使って領域間の情報を対応させる。



4. 分かりやすいスライドの作り方

わかりやすいスライドを作るためには、以下の5点に注意する。

- ① 序論の最後で、取り組む問題とその解決のために行うことを示す。
- ② 発表の最後に、まとめを示す。
- ③ 基本型として、「見出し」と「言いたいこと(要点)」を示す。
- ④ どういう情報を伝えるのかを、前もって知らせる。
- ⑤ 1枚のスライドで1つのことだけを言う。



Q & A

Q. ポスター制作において、まとめを右上に配置することは、視線の移動が複雑になり、読みにくくなるというデメリットがあるが、このデメリットを考慮した上でも、まとめは右上に書くべきか？

A. 枠で囲む等、まとめの部分だけを強調することで、デメリットは解消される。まとめを右上に置き、序論とセットにすることで、そのポスターの概要が分かることが重要である。

編集後記

講演会を通して、どのようなポスターやスライドが聴衆から見て優れているかを熱心に聞く生徒の姿が見られました。また、発表に対する根本的な意識を見直す良い機会にもなったと思います。2学年は10月にポスター発表会を控えているので、今回の講演で得た知見を十分に活用し、有意義なものにして欲しいと思います。最後に、私たちに貴重な学びの機会をくださった酒井 聡樹 先生に、心より御礼申し上げます。